



## 新コレクションの 登場

文  
ニコラス・フォークス  
写真  
ブノワ・ジャネット

新しいパテック フィリップ・コレクションの発表は、たぐい希な出来事であるが、ティエリー・スターンのイマジネーションから生まれた最新の時計デザインも同様である。その名はCubitus。アクアノートとノーチラスの従弟であり、画期的なエレガント・カジュアル・ウォッチである。



【前見開きページ】  
Cubitusコレクションの誕生と共に発表された、新しい直径45mmの時計3点。オリーブグリーン・ソレイユ文字盤を備えたステンレススチール仕様の5821/1Aモデル(左上)。ネイビーブルーのバンドとブルー・ソレイユ文字盤を備えたプラチナ仕様の瞬時送り式大型日付表示5822モデル(右)。ブルー・ソレイユ文字盤を備えたステンレススチール&ローズゴールド仕様の5821/1ARモデル(左下)。  
【前ページ】  
スリムな5821/1ARモデルの

厚さは8.3mm。2体構造のケースはねじ込み式リュウズを備えている。  
【当ページ】  
5821/1ARモデルは、文字盤にプラチナ仕様5822モデルと同じ水平エンボス・パターンを採用。プレスレットの中央リンクと両側リンクには、対照的なポリッシュ仕上げとサテン仕上げが施されている。日付表示窓フレームはローズゴールド仕様。ローズゴールドのバトン型時分針と楕円バトン型アワーマーカーは、いずれもホワイト夜光付き。



「何か新しいことがしたくて、アイデアを生み出そうとしている時、突然『よし、何か違うことをしよう。ラウンド型ではないものをつくろう』という考えが閃きました。」 ティエリー・スターンが彼の創作のプロセスを説明する方法は、とても自然で簡単に聞こえる。そして彼にとってはその通りなのだろう。ある朝彼は目を覚まし、パテックフィリップが必要としているのはエレガントなスクエア型カジュアル・ウォッチだと決め、それをつくり始めたのである。

「既成概念にとらわれず、自分のコンフォートゾーンを離れ、マーケティング・ブリーフにはない何かを考えることが重要だと思います」とティエリーは語る。「それはあなた自身の夢、あなた自身のアイデアでなければならぬのです。」

ジュネーブの暖かい初夏の午後であった。プラン・レ・ワットのマニユファクチュールの最上階の一部を占める、優雅で高貴な応接室のスイートが陽光が満たしている。このエレガントなスイートの両開きのドアの向こうでは、世界有数のプレステージ溢れるウォッチ・ブランドの日々のビジネスの蜜蜂の巣のようなざわめき、他の日々と同じように続いている。フロア全体が配達スタッフから韓国からの訪問団まで、何百人もの人々で賑わっている。彼らは、ほんの数メートル先で起こっていることに気づかず、談笑している。

ティエリー・スターンの向かいに座った私は、パテックフィリップの新コレクションを目にしたプラン・レ・ワット以外の最初の人間のひとりという興味深い立場にいた。「パテックフィリップの新コレクション」とは、このような世代を画するイベントの重要性を伝えるにはやや不十分な表現であり、パテックフィリップがまったく新しいファミリーを発表することはほとんどないので、その意味で用いられることもめったにな

い。事実、パテックフィリップがTwenty-4を発表した時のような出来事は前世紀末、すなわち1999年まで遡らねばならない。しかしティエリーが目前のトレイに置かれた3本のスクエア型腕時計のうちの1本を手に取り、そのスリムなシルエットをよりよく見るために水平にかかげた際に言及したのは、その2年前の出来事、1997年のアクアノートの誕生であった。彼は告げた。「これがCubitusです。」

「あらゆるシーンで着用できるクラシックでカジュアル・シックな腕時計です。ノーチラスやアクアノート同様、ジーンズを穿いていても、水着を着ていても、スーツを着用していても、どこでも使えるので気に入っています」とティエリーは説明する。

ティエリーは、このニューモデルを「ノーチラスやアクアノートの従弟」と考えているという。家族的な類似性は明らかである。この腕時計のデザインは紛れもなく直線的であるが、同時にノーチラスとの相似も否定できない。Cubitusを初めて見ると、面食らうことになる。われわれの脳は、明白なデザインの特徴を記憶し、ノーチラスと結びつけることにあまりに慣れているので、それらがCubitusに反映されている様はわれわれの目を欺く。これがまったく新しい腕時計であるという事実には慣れるまで、ほんの一瞬だけノーチラスを見ているのだと思ひ込む。

ティエリーは、この新しいエレガントなカジュアル・モデルの登場によって深められた、パテックフィリップ・コレクションの間の家族的な絆についてさらに語る。「アクアノートがパテックフィリップを身に着きたいスポーティな初心者向けの最初の時計であるのに対し、Cubitusはブランドについてある程度知っている人向けのモデルです。これを見た人は、多くの努力が注ぎ込まれたことをすぐに感じるでしょう。」

PHOTOGRAPH: JEAN-DANIEL MEYER

ネイビーブルー、ファブリック柄のコンポジット・バンドは、特徴的なヒンジ付きラグによって時計に取り付けられている。

直径45mm（10～4時方向）、プラチナ仕様の5822モデルの角が丸みを帯びたスクエア型ケースは、コントラストを持たせた仕上げにより革新的なデザインを強調している。ケースとベゼルの上面は縦サテン仕上げ、ベゼルのベベルカットされた面、ケース本体の側面と結合部はポリッシュ仕上げされている。



12時位置に並んだ2つの表示窓による大型日付表示は、コプレナー・ディスク設計により、完全に同一平面上に配置されている。新しい瞬時送り式ジャンプ機構により、真夜中にわずか18ミリ秒で日付が送られる。

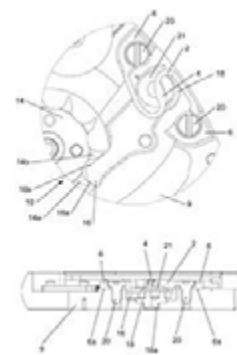
4～5時位置の微細な同心円模様のサブダイヤルのスモールセコンドは、ブルー・ソレイユ文字盤に対して読みやすくするためホワイトに着色され、ホワイトゴールドの指針が表示する。

瞬時送り式ジャンプ機構は、大型日付表示のみでなくムーンフェイスと曜日表示にも適用されるため、これらすべての変更が同時に行われる。表示は、6～8時位置の微細な同心円模様のサブダイヤルにホワイトで転写印刷されている。

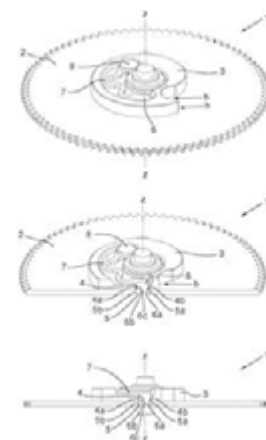
6時位置のラグ間にセッティングされたダイヤモンドは、プラチナ仕様であることを示すパテックフリリップの伝統的な方法であるが、今回はケース形状に合わせてバゲットカット・ダイヤモンドが採用されている。



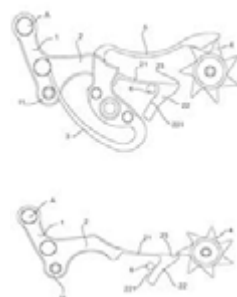
CH720028



EP4336273



EP4312083



EP4246247



EP4328674



CH719977

だがそれらを考慮しても、これは新しい時計であり、独自の強いアイデンティティを持つ、まったく新しい時計である。「これは一目でそれと分かる時計です」とティエリーは言うが、もちろんそれはこの時計を身に着ける希な機会があった場合の話である。数百ほどの製作本数では、欲しくてもなかなか手に入らないだろうと彼は認める。「最初の3年間は、宝探しとなるでしょう。生産を制限するつもりはないのですが、

親しみ深いと同時に革新的である。ノーチラス

がそれらを考慮しても、これは新しい時計であり、独自の強いアイデンティティを持つ、まったく新しい時計である。「これは一目でそれと分かる時計です」とティエリーは言うが、もちろんそれはこの時計を身に着ける希な機会があった場合の話である。数百ほどの製作本数では、欲しくてもなかなか手に入らないだろうと彼は認める。「最初の3年間は、宝探しとなるでしょう。生産を制限するつもりはないのですが、

親しみ深いと同時に革新的である。ノーチラス



新しい超薄型自動巻ムーブメント、キャリアー240 PSC JLUを、5822モデルのサファイヤクリスタル・バックを通して見ることができる。22金偏心マイクロローターには、文字盤と同じ水平エンボス・パターンが施されている。このキャリアーに関連し、6件の技術特許出願が行われた。（図左上から時計回り）2枚の日付表示窓ディスクを、表示ディスクと柔軟な

ロッキング・プレートの調整（技術特許2件）/完璧な精度で真夜中に日付を瞬時にジャンプさせるダブル・ファンクション・スプリングを備えたカム・セッティング・ホイール/日付の日付表示が31から01に変わる際、余分なエネルギーを吸収するタンジエント・ロック/1日の任意の時刻に曜日の修正を可能とするフレキシブルな曜日コレクター。

【前ページ】  
新しいCubitusコレクション  
の各モデル、5821/1ARモデル、  
瞬時送り式大型日付表示  
5822Pモデル、および5821/1A  
モデル(上から時計回り)には、  
マッチするカフリンクスが  
ラインナップされている。

カフリンクスの形状と素材は  
各々のモデルのケースにマッチ  
している。センター部分には  
対応する文字盤と同じカラーと、  
新しいCubitusモデルの  
シグナチャーである  
水平エンボス・パターンを  
備えている。

「パテック フィリップの新コレクション」とは、  
同社がまったく新しいファミリーを発表することは  
ほとんどないので、めったに聞くことのない表現である。

5712モデルを着用している人には、4〜5時  
位置にスモールセコンド、7時位置にムーンフェイ  
ズ表示を配したCubitus 5822Pモデルの文字  
盤の下部は見慣れたものである。しかし上半分  
は完全に新しい。10〜11時位置のパワーリザーブ  
表示はなくなり、代わりに12時位置に大型日付  
表示の2つの表示窓が並び、ムーンフェイズ外周  
のスペースを曜日表示のために解放している。

昨今、時計メーカーが日付表示にますます  
小さな数字を使用する傾向があるという印象  
を持つ、視力が1.0に満たない着用者にとつて  
は、パテックフィリップ・モデルに大型の日付表  
示が登場するのはきわめて歓迎すべきことであ  
る。しかし日付表示のこの一見単純な再配置の  
ためには、膨大な作業が必要であった。追加部  
品の数を見ても、この一見些細な変更の大きさ  
が分かる。5712モデル搭載のムーブメントは  
249個の部品から構成されているが、Cubitus  
大型日付表示5822モデルに搭載されたムー  
ブメントは合計353個の構成部品を数える。  
104個の部品が追加されたにもかかわらず、  
この新しいムーブメントの厚さは、従兄ノーチラ  
スの3.99ミリのムーブメントよりもわずかに0.77  
ミリしか増大しておらず、これは実に驚くべき  
ことである。

Cubitus大型日付表示のノーチラスと異なる特  
徴は、機能だけではない。カレンダー情報の伝  
達には、かろうじて識別できるほどの、しかし  
パテックフィリップに典型的な改善が加えられ  
ている。日付変更は瞬時送り式であり、ムーン  
フェイズと曜日表示も同じである。これらすべ  
てが真夜中に18ミリ秒という短時間で変更され  
るので、時刻と日付表示との間にいかなる微小  
なずれも生じない。しかしこの同時ジャンプは  
かなりのエネルギーを消費する。このCubitusモ  
デルは6件の技術特許出願の対象となった技術

革新を特徴としているが、それらは主にエネル  
ギー効率の向上に関連している。これらの改善  
は、個別に見れば取るに足らないように思える  
かもしれないが、組み合わせることで滑らかな  
動作と美的調和が実現されている。

ティエリーが日付表示窓の同一平面上に配置  
された1の位と10の位のディスク(コプレナー・  
ディスク)にこだわったのは、美的調和を追求す  
るためであった。一般に大型日付表示は2枚の  
ディスクを重ね合わせているが、そのため、よく  
見ると遠近感にわずかな違いがある。ほとん  
どの人にとっては気にならないかもしれないが、  
ティエリーはこれが気になった。そのため、Cubitus  
大型日付表示には同一平面上に2枚のディスクが  
配置され、左側の少し小さいディスクには0から3  
の数字が2組印刷されており、右側のディス  
クには0から9の数字が印刷されている。

この新しい時計は、どんな細かいディテールも  
見逃すことはできない。例えば自動巻ローター  
は文字盤と同様の水平エンボス・パターンで仕上  
げられている。またすべてのプラチナ・モデルは  
6時位置のラグ間に小さなラウンド・ブリリアン  
トカット・ダイヤモンドをセッティングするとい  
うパテックフィリップの伝統があり、5822モ  
デルもこれに属する。しかし5822モデルでは、  
ダイヤモンドはバゲットカットである。「スクエア  
型の時計にラウンド型ダイヤモンドは論理的に適  
わないからです」とティエリーは述べる。彼は一  
息ついて、目の前のコレクションを物思いにふけ  
りながら眺め、こうつけ加えた。「時計と高級時  
計を分けるのは、これらの小さなディテールな  
のです。」言いかえれば、それが時計とパテック  
フィリップの違いなのである。

オナー・エリアマジン・エキストラ・エナジー・US  
記事の関連コンテンツを掲載しています。Oorité  
から、ぜひご覧ください。patek.com/ja/na-

